

認定第7号

令和5年度芽室町下水道事業会計決算認定の件

地方公営企業法第30条第4項の規定により、令和5年度芽室町下水道事業会計歳入歳出決算を議会の認定に付するものであります。

令和6年9月3日提出

芽室町長 手 島 旭

認定第 8 号

令和 5 年度芽室町上水道事業会計決算認定の件

地方公営企業法第 30 条第 4 項の規定により、令和 5 年度芽室町上水道事業会計  
歳入歳出決算を議会の認定に付するものであります。

令和 6 年 9 月 3 日提出

芽室町長 手 島 旭

認定第9号

令和5年度芽室町公立芽室病院事業会計決算認定の件

地方公営企業法第30条第4項の規定により、令和5年度芽室町公立芽室病院事業会計歳入歳出決算を議会の認定に付するものであります。

令和6年9月3日提出

芽室町長 手 島 旭

令和5年度芽室町各事業会計歳入歳出決算審査意見書

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第30条第2項の規定に基づき、令和6年5月31日審査に付された令和5年度芽室町各事業会計決算について審査した結果、次のとおりその意見を付します。

令和6年8月21日

芽室町監査委員 岩波 栄



芽室町監査委員 常通 直人



芽室町長 手島 旭 様

## 1 審査の対象

- (1) 令和5年度 芽室町下水道事業会計歳入歳出決算
- (2) 令和5年度 芽室町上水道事業会計歳入歳出決算
- (3) 令和5年度 芽室町公立芽室病院事業会計歳入歳出決算

## 2 審査の期間

令和6年6月27日から7月1日まで

## 3 審査の方法

令和5年度の芽室町下水道事業会計、芽室町上水道事業会計及び芽室町公立芽室病院事業会計決算審査に当たっては、審査に付された決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分（欠損金処理）計算書、貸借対照表のほか決算附属書類としての事業報告書、キャッシュ・フロー計算書、決算明細書、固定資産明細書、企業債明細書と証書類、試算表、総勘定元帳等を照合点検し、計算の正確性、予算執行上の適否について審査し、かつ決算諸表が関係法令に準拠し作成されているか、経営内容及び財産管理の実態が適正確実に表示・保管され、請負契約・委託契約等が適正に取り交わされ契約のとおり実施されているか、さらに一般会計からの繰り入れが適正に処理されているか等について審査を実施いたしました。

## 4 決算の概要及び審査意見

令和5年度の芽室町下水道事業会計、芽室町上水道事業会計及び芽室町公立芽室病院事業会計決算審査の結果、決算報告書及び各財務諸表は地方公営企業法その他の関係法令に準拠し、計数は関係諸帳簿、証拠書類等に正確に記帳され、3事業の執行状況は適正なものと認めました。

なお、決算の概要は次のとおりです。

芽室町下水道事業会計

令和5年度における芽室町下水道事業会計の決算状況は次のとおりです。

1 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入（消費税を除く）

・ 営業収益

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
使用料	419,598,243	427,666,310	△ 8,068,067	98.1%
他会計負担金	36,347,000	28,369,000	7,978,000	128.1%
その他営業収益	210,000	272,000	△ 62,000	77.2%
計	456,155,243	456,307,310	△ 152,067	99.9%

・ 営業外収益

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
国庫補助金	3,036,000	0	3,036,000	皆増
他会計補助金	36,069,000	40,914,000	△ 4,845,000	88.2%
他会計負担金	61,204,000	48,853,000	12,351,000	125.3%
長期前受金戻入	146,504,584	154,152,239	△ 7,647,655	95.0%
雑収益	147,175	354,941	△ 207,766	41.5%
消費税還付金	1,300	0	1,300	皆増
計	246,962,059	244,274,180	2,687,879	101.1%

・ 特別利益

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
固定資産売却益	1,192,087	98,375	1,093,712	1,211.8%
計	1,192,087	98,375	1,093,712	1,211.8%

※ 収益的収入合計

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
収益的収入合計	(746,388,406)	(743,456,314)	(2,932,092)	(100.4%)
	704,309,389	700,679,865	3,629,524	100.5%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

営業収益は、前年度比152,067円(0.1%)減の456,155,243円で、使用料減額の主な要因としては、大口使用者の使用量減少分が影響したためであります。

営業外収益は、2,687,879円(1.1%)増の246,962,059円、増額の主な要因としては、一般会計からの繰入れである他会計負担金の増額によるものであります。特別利益は、1,093,712円(1,211.8%)増の1,192,087円であります。

収益的収入合計では、前年度比3,629,524円増の704,309,389円であります。

## (2) 収益的支出 (消費税を除く)

## ・ 営業費用

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
管渠費	40,942,850	45,375,700	△ 4,432,850	90.2%
ポンプ場費	44,387,302	28,224,451	16,162,851	157.3%
集落排水施設費	6,183,921	5,356,119	827,802	115.5%
個別排水処理施設費	61,251,520	62,869,000	△ 1,617,480	97.4%
流域下水道事業負担金	136,995,273	114,678,909	22,316,364	119.5%
業務費	10,656,993	10,891,830	△ 234,837	97.8%
総係費	24,118,169	21,791,209	2,326,960	110.7%
減価償却費	417,463,900	419,831,653	△ 2,367,753	99.4%
資産減耗費	343,001	12,310,754	△ 11,967,753	2.8%
計	742,342,929	721,329,625	21,013,304	102.9%

## ・ 営業外費用

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
支払利息及び 企業債取扱諸費	23,193,436	25,810,029	△ 2,616,593	89.9%
雑支出	9,206,021	8,471,172	734,849	108.7%
計	32,399,457	34,281,201	△ 1,881,744	94.5%

## ・ 特別損失

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
固定資産売却損	0	148,028	△ 148,028	皆減
計	0	148,028	△ 148,028	皆減

## ※ 収益的支出合計

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
収益的支出合計	(804,002,856)	(784,312,029)	(19,690,827)	(102.5%)
	774,742,386	755,758,854	18,983,532	102.5%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

営業費用は、前年度比21,013,304円(2.9%)増の742,342,929円で、増額的主要因は、ポンプ場費、集落排水施設費、流域下水道事業負担金、総係費が増加したためであります。

営業外費用は、前年度比1,881,744円(5.5%)減の32,399,457円で、収益的支出合計では、前年度比18,983,532円(2.5%)増の774,742,386円であります。

この結果、収益的収入合計704,309,389円、収益的支出合計774,742,386円で、当年度の純損失70,432,997円に前年度繰越欠損金101,445,727円を加えた当年度未処理欠損金は171,878,724円であります。

## 2 資本的収入及び支出

### (1) 資本的収入

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
企業債	95,400,000	141,100,000	△ 45,700,000	67.6%
出資金	115,693,000	117,371,000	△ 1,678,000	98.6%
国庫補助金	49,115,000	27,852,550	21,262,450	176.3%
受益者負担金	45,840	510,740	△ 464,900	9.0%
受益者分担金	1,566,400	1,421,200	145,200	110.2%
固定資産売却代金	0	125,000	△ 125,000	皆減
その他資本的収入	204,000	196,000	8,000	104.1%
計	(262,024,240) 262,024,240	(288,588,990) 288,576,490	(△ 26,564,750) △ 26,552,250	(90.8%) 90.8%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

### (2) 資本的支出

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
建設改良費	174,301,235	169,434,660	4,866,575	102.9%
企業債償還金	196,900,980	205,352,702	△ 8,451,722	95.9%
計	(388,632,329) 371,202,215	(391,730,817) 374,787,362	(△ 3,098,488) △ 3,585,147	(99.2%) 99.0%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

資本的収入が資本的支出に対して、不足する額126,608,089円（消費税込み）は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額12,818,547円、過年度分損益勘定留保資金113,789,542円で補てんし、資金収支の均衡が図られています。

企業債については、公共下水道事業の令和4年度末未償還残高は1,415,308,091円で、令和5年度に67,700,000円を借入れ、152,253,997円を償還したことから、令和5年度末未償還残高は1,330,754,094円。農業集落排水事業の令和4年度末未償還残高は92,438,921円で、令和5年度に6,000,000円を借入れ、2,844,925円を償還したことから、令和5年度末未償還残高は95,593,996円。個別排水処理施設事業の令和4年度末未償還残高は541,823,039円で、令和5年度に21,700,000円の借入れを行い、41,802,058円を償還したことから、令和5年度末未償還残高は521,720,981円となっています。

(3) 建設改良工事の概要（消費税込み）

- ① 公共下水道整備費 107,819,800円  
第1汚水中継ポンプ場監視制御設備更新工事、  
第1汚水中継ポンプ場監視制御設備更新工事（その2）、  
第2汚水中継ポンプ場吐出井解体工事、  
公共枿新設工事（その1～12）
- ② 集落排水処理施設整備費 6,050,000円  
上美生集落排水施設フェンス設置工事
- ③ 個別排水処理施設整備費 28,314,000円  
整備件数 10件（5人槽 6基、7人槽 4基）

3 予算執行状況

(1) 収益的収支

・収益的収入（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
下水道事業収益	740,676,000	746,388,406	5,712,406	100.8%
営業収益	493,444,000	498,115,052	4,671,052	100.9%
営業外収益	246,942,000	246,962,059	20,059	100.0%
特別利益	290,000	1,311,295	1,021,295	452.2%

・収益的支出（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
下水道事業費用	812,195,000	804,002,856	8,192,144	99.0%
営業費用	777,959,000	771,318,881	6,640,119	99.1%
営業外費用	34,236,000	32,683,975	1,552,025	95.5%
予備費	1,971,000	0	1,971,000	0.0%
計	814,166,000	804,002,856	10,163,144	98.8%

下水道事業収益は予算執行率が100.8%、下水道事業費用の予備費を除いた予算執行率は99.0%であり、予算の執行状況は概ね適正であると認めます。

(2) 資本的収支

・資本的収入（消費税込み）

（単位：円）

項 目	現計予算額	決算額	翌年度繰越額	増減額	執行率
資本的収入	265,388,000	262,024,240	3,365,000	1,240	100.0%
企業債	98,700,000	95,400,000	3,300,000	0	100.0%
出資金	115,693,000	115,693,000	0	0	100.0%
国庫補助金	49,115,000	49,115,000	0	0	100.0%
受益者負担金	45,000	45,840	0	840	101.9%
受益者分担金	1,566,000	1,566,400	0	400	100.0%
その他資本的収入	269,000	204,000	65,000	0	100.0%

・資本的支出（消費税込み）

（単位：円）

項 目	現計予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的支出	392,064,000	388,632,329	3,427,000	4,671	100.0%
建設改良費	195,162,000	191,731,349	3,427,000	3,651	100.0%
企業債償還金	196,902,000	196,900,980	0	1,020	100.0%

資本的収入の予算執行率は100.0%、資本的支出の予算執行率は100.0%であります。

4 未収状況及び不納欠損額

(1) 公共下水道使用料

（単位：円）

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
現 年 度	39,350,112	58,637,919	△ 19,287,807	67.1%
過 年 度	2,215,141	2,236,198	△ 21,057	99.1%
計	41,565,253	60,874,117	△ 19,308,864	68.3%
不納欠損額	137,379	69,760	67,619	196.9%

(2) 集落排水施設使用料

（単位：円）

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
現 年 度	155,633	157,151	△ 1,518	99.0%
過 年 度	1,670	0	1,670	皆増
計	157,303	157,151	152	100.1%
不納欠損額	0	0	0	—

### (3) 個別排水処理施設使用料

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
現 年 度	4,127,719	3,955,029	172,690	104.4%
過 年 度	206,921	168,405	38,516	122.9%
計	4,334,640	4,123,434	211,206	105.1%
不納欠損額	25,770	0	25,770	皆増

公共下水道使用料の現年度分収納率は90.5%（前年度86.2%）、過年度分収納率は96.1%（前年度96.4%）で、未収額は41,565,253円となっており、前年度と比較し19,308,864円減少しています。

また、不納欠損額は、前年度の36件69,760円に対し、令和5年度は81件137,379円で67,619円の増であります。

集落排水施設使用料の現年度分収納率は90.6%（前年度90.9%）、過年度分収納率は98.9%（前年度100.0%）で、未収額は157,303円となっており、前年度と比較し152円増加しています。

個別排水処理施設使用料の現年度分収納率は90.8%（前年度91.1%）、過年度分収納率は94.4%（前年度95.8%）で、未収額は4,334,640円となっており、前年度と比較し211,206円増加しています。

以上、芽室町下水道事業は、公共下水道事業・農業集落排水事業・個別排水処理事業の3事業があり、令和2年度から3事業を1つの会計に統合し、地方公営企業法を適用させた公営企業会計に移行しております。令和5年度の主な整備事業として、公共下水道事業では汚水中継ポンプ場の監視制御設備更新工事や吐出井解体工事、農業集落排水事業では上美生集落排水施設フェンス設置工事、個別排水処理事業では個別排水処理施設整備工事を行い、健康で快適な町民の生活を支える重要なライフラインの整備を図っています。

併せて、各下水道施設を適切に維持していくために財政状況を整理し、地方公営企業として安定した経営を目指すとともに、下水道事業に対する町民の理解により、不納欠損が発生しないよう一層の収納率の向上に努め、将来にわたり快適で安全安心な生活環境の提供が可能となるよう、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を期待するものであります。

芽室町上水道事業会計

令和5年度における芽室町上水道事業会計の決算状況は次のとおりです。

1 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入（消費税を除く）

・ 営業収益

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
給水収益	328,182,262	329,108,905	△ 926,643	99.7%
他会計補助金	62,304,045	61,769,695	534,350	100.9%
その他営業収益	9,265,327	15,533,052	△ 6,267,725	59.6%
計	399,751,634	406,411,652	△ 6,660,018	98.4%

・ 営業外収益

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
他会計補助金	1,320,200	1,686,550	△ 366,350	78.3%
長期前受金戻入	78,284,024	89,668,042	△ 11,384,018	87.3%
雑収益	8,483,592	10,084,501	△ 1,600,909	84.1%
計	88,087,816	101,439,093	△ 13,351,277	86.8%

・ 特別利益

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
固定資産売却益	607,924	47,791	560,133	1,272.0%
その他特別利益	0	64,655	△ 64,655	皆減
計	607,924	112,446	495,478	540.6%

※ 収益的収入合計

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
収益的収入合計	(523,063,976)	(543,391,544)	(△ 20,327,568)	(96.3%)
	488,447,374	507,963,191	△ 19,515,817	96.2%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

営業収益は、前年度比6,660,018円(1.6%)減の399,751,634円で、そのうち給水収益は926,643円(0.3%)の減であり、物価高騰対策に係る基本料金の減免を前年度に引き続き実施したことが影響しています。

営業外収益は、13,351,277円(13.2%)減の88,087,816円で、減額の主な要因としては、長期前受金戻入の減少によるものであります。

収益的収入合計では、前年度比19,515,817円(3.8%)減の488,447,374円であります。

## (2) 収益的支出 (消費税を除く)

## ・ 営業費用

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
原水及び浄水費	124,755,917	120,435,180	4,320,737	103.6%
配水及び給水費	30,757,000	15,925,773	14,831,227	193.1%
業務費	16,897,244	14,755,530	2,141,714	114.5%
総係費	23,031,271	23,853,208	△ 821,937	96.6%
減価償却費	226,995,240	239,956,219	△ 12,960,979	94.6%
資産減耗費	1,177,962	2,286,327	△ 1,108,365	51.5%
計	423,614,634	417,212,237	6,402,397	101.5%

## ・ 営業外費用

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
支払利息及び 企業債取扱諸費	16,782,874	19,751,075	△ 2,968,201	85.0%
雑支出	4,751,531	4,192,905	558,626	113.3%
計	21,534,405	23,943,980	△ 2,409,575	89.9%

## ・ 特別損失

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
固定資産売却損	0	93,360	△ 93,360	皆減
計	0	93,360	△ 93,360	皆減

## ※ 収益的支出合計

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
収益的支出合計	(466,257,995)	(465,825,514)	(432,481)	(100.1%)
	445,149,039	441,249,577	3,899,462	100.9%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

営業費用は、前年度比6,402,397円(1.5%)増の423,614,634円で、増額の主な要因は、原水及び浄水費、配水及び給水費、業務費が増加したためであります。

営業外費用は、前年度比2,409,575円(10.1%)減の21,534,405円で、収益的支出合計では、前年度比3,899,462円(0.9%)増であります。この結果、収益的収入合計488,447,374円、収益的支出合計445,149,039円で、当年度の純利益は43,298,335円であります。

当年度純利益に前年度繰越利益剰余金280,852,967円、その他の未処分利益剰余金変動額37,749,364円を加えた当年度未処分利益剰余金は361,900,666円であります。

## 2 資本的収入及び支出

### (1) 資本的収入

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
企業債	104,600,000	80,500,000	24,100,000	129.9%
固定資産売却代金	1,370,696	1,385,632	△ 14,936	98.9%
他会計負担金	1,233,100	1,085,700	147,400	113.6%
計	(107,340,866)	(83,101,769)	(24,239,097)	(129.2%)
	107,203,796	82,971,332	24,232,464	129.2%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

### (2) 資本的支出

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
配水本管整備費	41,520,000	38,560,000	2,960,000	107.7%
給水設備費	41,095,000	36,518,700	4,576,300	112.5%
第6期拡張事業費	54,953,194	35,736,837	19,216,357	153.8%
企業債償還金	151,927,528	162,380,963	△ 10,453,435	93.6%
計	(303,252,538)	(284,278,053)	(18,974,485)	(106.7%)
	289,495,722	273,196,500	16,299,222	106.0%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

資本的収入が資本的支出に対して、不足する額195,911,672円（消費税込み）は、当年度分損益勘定留保資金149,889,178円と当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額13,507,646円並びに繰越利益剰余金処分額32,514,848円で補てんし、資金収支の均衡が図られています。

企業債の令和4年度末未償還残高は1,483,019,389円で、令和5年度に104,600,000円を借入れ、151,927,528円を償還したことから、令和5年度末未償還残高は1,435,691,861円となっています。

### (3) 建設改良工事の概要（消費税込み）

- ① 第6期拡張事業 60,247,000円  
芽室浄水場計装盤更新工事
- ② 配水本管整備事業 45,672,000円  
日甜通配水管布設換工事 工事延長合計 198.45m  
芽室西26号通配水管布設換工事 工事延長合計 169.83m  
イリス・プラザ通配水管布設換工事 工事延長合計 371.34m
- ③ 検満量水器取替工事（1～4工区） 合計1,269台 23,177,000円
- ④ 量水器の購入 22,027,500円  
新設用量水器 81台、検満取替用量水器 1,269台 合計 1,350台

### 3 予算執行状況

#### (1) 収益的収支

##### ・収益的収入（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
水道事業収益	516,518,000	523,063,976	6,545,976	101.3%
営業収益	426,855,000	433,462,536	6,607,536	101.5%
営業外収益	88,934,000	88,932,724	△ 1,276	100.0%
特別利益	729,000	668,716	△ 60,284	91.7%

##### ・収益的支出（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
水道事業費用	473,633,000	466,257,995	7,375,005	98.4%
営業費用	447,923,000	440,880,521	7,042,479	98.4%
営業外費用	25,710,000	25,377,474	332,526	98.7%
予備費	42,885,000	0	42,885,000	0.0%
計	516,518,000	466,257,995	50,260,005	90.3%

水道事業収益は予算執行率が101.3%、水道事業費用の予備費を除いた予算執行率は98.4%であり、予算の執行状況は概ね適正であると認めます。

#### (2) 資本的収支

##### ・資本的収入（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
資本的収入	107,934,000	107,340,866	△ 593,134	99.5%
企業債	104,600,000	104,600,000	0	100.0%
固定資産売却代金	2,100,000	1,507,766	△ 592,234	71.8%
他会計負担金	1,234,000	1,233,100	△ 900	99.9%

##### ・資本的支出（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
資本的支出	303,255,000	303,252,538	2,462	100.0%
建設改良費	151,327,000	151,325,010	1,990	100.0%
企業債償還金	151,928,000	151,927,528	472	100.0%

資本的収入の予算執行率は99.5%、資本的支出の予算執行率は100.0%であります。

## 4 水道使用料の未収状況及び不納欠損額

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
現 年 度	6,532,347	5,783,805	748,542	112.9%
過 年 度	3,574,167	3,801,834	△ 227,667	94.0%
計	10,106,514	9,585,639	520,875	105.4%
不納欠損額	218,931	236,151	△ 17,220	92.7%

水道使用料の現年度分収納率は98.2%（前年度98.4%）、過年度分収納率は60.4%（前年度58.7%）で、未収額は10,106,514円となっており、前年度と比較し520,875円増加しています。

また、不納欠損額は、前年度の65件236,151円に対し、令和5年度は77件218,931円で17,220円の減であります。

以上、令和5年度芽室町上水道事業会計の決算状況を申し上げますが、上水道事業は、地方公営企業の目的である公共の福祉増進と経済性に主眼を置いて事業経営を行っており、令和5年度は配水管布設換工事を計画的に進め、健康で快適な町民の生活を支える重要なライフラインとしての整備維持を図っています。

さらに、第6期拡張事業として芽室浄水場の計装盤等を更新し、施設の安全管理に取り組んでいるところであります。

また、施設の維持管理においては、漏水の早期発見・早期修繕による有収率の向上により、経営の健全化、効率化を図り、経費の縮減に努められることを確認しました。

併せて、水道事業に対する町民の理解により、水道使用料は受益者負担と公平性確保の点からも、不納欠損が発生しないよう一層の収納率の向上に努め、地方公営企業として経済性を発揮するとともに、公共の福祉増進のため、安全・安心な生活用水の確保と水道サービスの向上を期待するものであります。

芽室町公立芽室病院事業会計

令和5年度における芽室町公立芽室病院事業会計の決算状況は次のとおりです。

1 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入（消費税を除く）

・ 医業収益

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
入院収益	803,750,401	812,806,194	△ 9,055,793	98.9%
外来収益	540,128,957	598,273,170	△ 58,144,213	90.3%
その他医業収益	202,435,480	206,888,413	△ 4,452,933	97.8%
計	1,546,314,838	1,617,967,777	△ 71,652,939	95.6%

・ 医業外収益

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
他会計負担金	96,654,000	98,516,000	△ 1,862,000	98.1%
他会計補助金	234,268,000	243,053,000	△ 8,785,000	96.4%
患者外給食収益	1,585,100	1,434,194	150,906	110.5%
長期前受金戻入	111,624,797	84,931,848	26,692,949	131.4%
その他医業外収益	214,882,534	686,348,512	△ 471,465,978	31.3%
計	659,014,431	1,114,283,554	△ 455,269,123	59.1%

※ 収益的収入合計

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
収益的収入合計	(2,215,171,782)	(2,744,132,728)	(△ 528,960,946)	80.7%
	2,205,329,269	2,732,251,331	△ 526,922,062	80.7%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

収益的収入の医業収益のうち入院収益は、前年度比9,055,793円(1.1%)減の803,750,401円、外来収益は、前年度比58,144,213円(9.7%)減の540,128,957円で、入院・外来ともに収益が前年度を下回りました。入院では上半期の病床利用率が低迷し、外来では、発熱患者（PCR検査）が減少したことが収益の減少の要因となっています。なお、令和5年度においても、新型コロナウイルス感染症患者受入病床を確保し、「感染症病床確保促進事業費補助金」を受けています。

また、医業外収益は前年度比455,269,123円(40.9%)減の659,014,431円となり、収益的収入合計では、前年度比526,922,062円(19.3%)減の2,205,329,269円となりました。

## (2) 収益的支出 (消費税を除く)

## ・ 医業費用

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
給与費	1,432,591,132	1,485,989,279	△ 53,398,147	96.4%
材料費	181,859,694	206,277,783	△ 24,418,089	88.2%
経 費	311,519,311	329,951,300	△ 18,431,989	94.4%
減価償却費	159,335,630	116,301,534	43,034,096	137.0%
資産減耗費	4,687,076	7,333,712	△ 2,646,636	63.9%
研究研修費	6,203,905	3,905,175	2,298,730	158.9%
計	2,096,196,748	2,149,758,783	△ 53,562,035	97.5%

## ・ 医業外費用

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
支払利息及び 企業債取扱諸費	4,740,456	5,006,596	△ 266,140	94.7%
患者外給食材料費	2,492,981	2,200,408	292,573	113.3%
雑損失	45,291,893	49,099,072	△ 3,807,179	92.2%
運営委員会費	29,327	86,769	△ 57,442	33.8%
その他医業外費用	511,454	0	511,454	皆増
計	53,066,111	56,392,845	△ 3,326,734	94.1%

## ※ 収益的支出合計

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
収益的支出合計	(2,142,607,542)	(2,196,069,863)	(△ 53,462,321)	97.6%
	2,149,262,859	2,206,151,628	△ 56,888,769	97.4%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

医業費用では前年度比53,562,035円(2.5%)減の2,096,196,748円、医業外費用は前年度比3,326,734円(5.9%)減の53,066,111円で、収益的支出合計では、56,888,769円(2.6%)減の2,149,262,859円となり、当年度の純利益は56,066,410円であります。

この結果、前年度繰越利益剰余金25,770,760円に、当年度純利益56,066,410円を加えた当年度未処分剰余金は81,837,170円となりました。

## 2 資本的収入及び支出

### (1) 資本的収入

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
企業債	30,000,000	140,000,000	△ 110,000,000	21.4%
出資金	53,966,000	54,101,000	△ 135,000	99.8%
繰入金	4,125,000	44,125,000	△ 40,000,000	9.3%
補助金	1,531,000	74,458,000	△ 72,927,000	2.1%
他会計補助金	0	21,555,000	△ 21,555,000	皆減
寄附金	12,854,601	5,287,715	7,566,886	243.1%
計	(102,476,601)	(339,526,715)	(△ 237,050,114)	30.2%
	102,476,601	339,526,715	△ 237,050,114	30.2%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

### (2) 資本的支出

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
有形固定資産購入費	79,850,343	281,135,478	△ 201,285,135	28.4%
施設費	11,958,515	51,558,881	△ 39,600,366	23.2%
企業債償還金	42,534,595	45,560,190	△ 3,025,595	93.4%
計	(134,838,524)	(380,229,844)	(△ 245,391,320)	35.5%
	134,343,453	378,254,549	△ 243,911,096	35.5%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

資本的収入は、企業債（内視鏡ビデオスコープシステム更新）として30,000,000円、一般会計からの出資金53,966,000円と繰入金4,125,000円、国庫補助金として遠隔医療促進事業補助金1,531,000円、寄附金として12,854,601円を受入れました。

また、資本的支出においては、内視鏡ビデオスコープシステム、高精細モニタ、遠隔医療システム等の器械及び備品の購入、また、エレベーター改修工事、医師住宅改修工事等を行っています。

## 3 予算執行状況

### (1) 収益的収支

#### ・収益的収入（消費税込み）

(単位：円)

項 目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
病院事業収益	2,220,167,000	2,215,171,782	△ 4,995,218	99.8%
医業収益	1,570,331,000	1,554,985,274	△ 15,345,726	99.0%
医業外収益	649,836,000	660,186,508	10,350,508	101.6%

・収益的支出（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
病院事業費用	2,175,803,000	2,142,607,542	33,195,458	98.5%
医業費用	2,154,975,000	2,124,966,418	30,008,582	98.6%
医業外費用	18,828,000	17,641,124	1,186,876	93.7%
予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0%

病院事業収益の予算額に対する執行率は99.8%でしたが、医業外収益では決算額が現計予算額を約1,000万円上回りました。また、病院事業費用は予算執行率が98.5%で、不用額の主なものは医業費用の給与費、材料費及び経費であります。

(2) 資本的収支

・資本的収入（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
資本的収入	102,478,000	102,476,601	△ 1,399	100.0%
企業債	30,000,000	30,000,000	0	100.0%
出資金	53,966,000	53,966,000	0	100.0%
繰入金	4,125,000	4,125,000	0	100.0%
補助金	1,532,000	1,531,000	△ 1,000	99.9%
寄附金	12,855,000	12,854,601	△ 399	100.0%

・資本的支出（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
資本的支出	134,958,000	134,838,524	119,476	99.9%
建設改良費	92,423,000	92,303,929	119,071	99.9%
企業債償還金	42,535,000	42,534,595	405	100.0%

資本的収入の予算執行率は100.0%、資本的支出の予算執行率は99.9%で、いずれも現計予算に基づく適切な執行がされています。

4 企業債の状況

(1) 企業債

（単位：円）

前年度末繰越残高	令和5年度中		次年度以降繰越額
	借入額	償還額	
443,189,285	30,000,000	42,534,595	430,654,690

内視鏡ビデオスコープシステム更新のため、借り入れが1件ありました。

## 5 業務量

### (1) 入院収益

項目	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
病床利用率	75.5%	76.9%	64.8%	71.1%
1日平均入院患者	80.7人	82.3人	69.4人	76.1人
1人1日当たり収入	27,196円	27,065円	24,924円	25,641円

### (2) 外来収益

項目	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
1日平均外来患者	242.1人	258.8人	229.8人	211.0人
1人1日当たり収入	9,264円	9,613円	9,218円	8,999円

業務量では、入院における病床利用率は75.5%と前年度比1.4ポイント減となっており、入院患者数は1日当たり80.7人で前年度比1.6人の減、1人1日当たりの収入は27,196円で前年度比131円の増であります。

外来患者は1日当たり242.1人で前年度比16.7人の減、1人1日当たり外来収入は9,264円で前年度比349円の減であります。

業務量の基準となる患者数については、令和4年度は新型コロナウイルス感染症による影響を受ける前の令和元年度の水準まで回復しましたが、令和5年度は入院患者・外来患者ともに前年度より減少する結果となりました。

## 6 職員数

### 各年度末職員数

(単位：人)

項目	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
医師	10	11	8	9
看護師	69	66	65	64
准看護師	1	1	1	2
医療技術者	28	25	24	24
事務職員	11	11	11	12
その他職員	2	2	3	3
計	121	116	112	114

今年度は、常勤医師10人体制で診療を行いました。

新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ感染予防を継続し、求められる医療サービスの提供を続けました。

以上、令和5年度公立芽室病院事業会計の決算状況を申し上げましたが、本業の経営成績を示す医業収支は、医業収益1,546,314,838円に対し、医業費用は2,096,196,748円で、549,881,910円の損失となり、これに、医業外収益659,014,431円を加え医業外費用53,066,111円を除いた収益的収支では56,066,410円の純利益となりました。

要因として医業収支において、新型コロナウイルス感染症患者病床の確保に伴う補助金を受けたことが挙げられ、令和2年度から4年連続の黒字決算となりました。

医師や看護師を始めとする医療技術スタッフの確保は、診療体制の確保・強化、経営改善に向けての最優先課題であり、特に、医師確保の取り組みにより今年度の診療体制の充実を図ったことは高く評価されているところであります。

町内で唯一の入院機能を持つ医療機関として、回復期病院としての機能強化に加え、慢性期病院としての機能を充実させ、良質な医療を提供するとともに、経営安定化を目指し、地域住民から信頼される病院づくりに努めています。

公立芽室病院が「かかりつけ病院」としての機能充実に加え、地域包括ケアシステムにおける中核施設として住民の健康と生命を守るため、安定的かつ継続的な安心と地域で必要とされる医療の提供を期待するものであります。

加えて、公的な役割として民間医療機関では担い難く、採算性の確保が難しい分野の医療を担う使命を持っており、良質な医療を継続して提供していくためにも、経営の効率化による医療提供体制の確保に向けた様々な取り組みの継続を望むものであります。